

二見書房 注文書 FAX/ 03-5212-2301

二見文庫 霧村悠康 医療ミステリー

本社 : 〒101-8405 東京都千代田区三崎町 2-18-11 03-3515-2311

様

お急ぎのご注文はファクリミリをご利用ください

女医・倉石祥子シリーズ

シリーズ  
第5弾

# 霧村悠康 女医・倉石祥子 死の病室

倉石祥子が当直を務める病院に、救急で担ぎ込まれた一人の女性患者。急性アルコール中毒で状態は良好だと思われていたが、その翌朝、突然心肺停止を起こして亡くなる。数日後、慢性閉塞性肺疾患と考えられた男性患者も急変し、死亡。いずれも自らの診断ミスだと、落ち込む祥子だったが、患者の死亡カルテを見て、その死因に疑問を持ち始める――。



フジ系列〈金曜プレステージ〉片平なぎさ主演ドラマ化作品

## 死の点滴

二人の患者に何が起こったのか？

薬物中毒患者が死亡した翌日、治療間近の十二指腸潰瘍患者も急変し命を落とした。「おかしい!?」○大学病院から当直にきていた医師・倉石祥子は疑惑を抱く。点滴使いまわし及び使用期限切れの薬剤使用疑惑、そこに不可解な殺人が――。



女医・倉石祥子シリーズ既刊

第1弾 <b>特効薬</b> 疑惑の抗癌剤	副作用のない抗癌剤は存在したのか!? 夢のような新薬の認可を巡って交錯する思惑と深い闇――
第3弾 <b>黒い研究室</b>	ここで、何が行なわれていたのか!? 製薬会社の研究室に残されていた痕跡と、連続殺人はどう結びつくのか――
第4弾 <b>感染爆発</b> 恐怖のワクチン	あのワクチンは必要だったのか!? ある研究者の死をきっかけに明らかになっていくワクチン開発の光と影。



## ロザリアの裁き

大胆な仕掛けとトリック、そして衝撃の結末！  
書下し医療本格ミステリー！

被害者が消えた!?

ある不倫カップルが人をはねた。しかし、被害者の人間が出てこない。数カ月後、同じ場所で同様のことが起きる。それでも前回と同様で、ニュースにさえならなかった。一方で、不倫カップルの事故と同じ日にある女性を殺し、土に埋めた男がいた。しかし、彼が再び現場に戻った時、埋めはずの遺体は消えていた…。

女医・倉石祥子シリーズ

商品ランクは (★: 必携商品 S: ベストセラー A: 良好商品) です。

背番号	書名	ISBNコード	本体(税込)	ランク	注文数
キ6-1	特効薬 疑惑の抗癌剤	978-4-576-08076-5	895(967)	S	
キ6-2	死の点滴	978-4-576-08216-5	895(967)	S	
キ6-4	黒い研究室	978-4-576-09096-2	952(1028)	★	
キ6-5	感染爆発(パンデミック) 恐怖のワクチン	978-4-576-10056-2	800(864)	★	
キ6-6	女医・倉石祥子 死の病室	978-4-576-12024-9	657(710)	★	

背番号	書名	ISBNコード	本体(税込)	ランク	注文数
キ6-3	ロザリアの裁き	978-4-576-09026-9	952(1028)	★	